

からだに優しいがん治療 陽子線治療のご紹介



後遺症や副作用をとまなうがん治療は、仕事の代償を強いるもの

できるだけ体を傷つけないがん治療。それは仕事や家庭を守り、経営する会社や、社員の暮らしを守ることにほかなりません。

国民病とも呼ばれるがん。日本人の2人に1人が発症し、3人に1人が命を落とすと言われています。PET（ペット）などの診断機器や治療技術が進歩し、がんは「不治の病」ではなくなりつつありますが、後遺症や副作用をとまなうがん治療は「当たり前の日常」を犠牲にし、仕事との両立を難しくするものでした。そのため、本人や家族のためにも「働きながら治療できる」体に負担の少ない治療法が求められてきたのです。

がん患者の3割は働き盛りの中高年。もしものとき、がんを治療する代償として会社や仕事に支障が出るのは極力避けたいところです。

陽子線治療は「切らずに治すがん治療」。治療時の苦痛や体への負担が少なく、仕事をリタイアせずに通院で、これまで通りの生活を送りながら“がんを治療する”という選択を可能にしてくれます。

◎ 陽子線治療とは？

陽子線治療とは、水素の原子核である陽子を光速近くまで加速して病巣に当てることでがん細胞を死滅させる治療法です。

外科手術のように体にメスを入れずに治療できるので、体力のないお年寄りでも受けることができます。また、通常の放射線に比べて副作用が抑えられることから「体に優しいがん治療」と呼ばれています。

南東北がん陽子線治療センターでは、2008年にオープンして以来、こうした「切らずに治す」「副作用の少ない」がん治療に取り組み、2017年4月末現在、治療者数は3,891名を数えます。

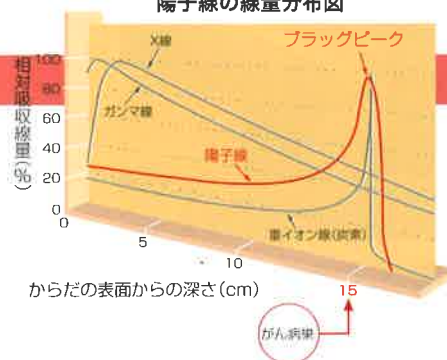


陽子線治療を行う回転ガントリー照射室

◎ 陽子線と他の放射線治療との違い

従来の放射線は体表面に強く当たり、深い所では弱くなっていくのに対し、陽子線は物理的な性質の違いから、体の深い所にエネルギーのピーク（ブラッグピーク）を作ることができます。そのため、体の中の病巣に一致させて強い放射線を照射することができ、無駄な被ばくを極力抑えた治療をすることが可能です。

また、陽子線には通常の放射線よりもがん細胞の遺伝子を破壊する効果が高いという生物学的な特長があり、より効果的ながん治療が期待できます。



切らずに副作用・後遺症も軽減する陽子線治療

こんな患者さんが陽子線治療を選択しています。

プライバシー保護の観点から、実際の症例に基づいたフィクションとしてご紹介いたします。

仕事を休みたくな
い辞めたくない

前立腺がん

中リスク 50代 男性

健康診断でPSAの数値が高いと言われ、泌尿器科を受診しました。

生体検査を行ってもらい、結果、前立腺癌と診断され手術が必要と言われました。

手術をすると、開腹手術時間も3～5時間ほどかかり入院も1ヵ月位と言われました。

手術後には尿失禁や性機能低下もあると言われ、おむつを履くこともありました。

最近では内視鏡手術もあるようですが、やはり出血や術後の痛みがあるらしい。

まだまだ若いし、仕事を辞めるわけにもいかないので、とても悩みました。

肝細胞がん 再発

80代 男性

3、4年前に肝細胞癌が発覚し、その時は手術が最良の方法だと言われ開腹手術を行いました。ですが、また今回肝臓に癌が再発してしまいました。

今度も手術を行うと思うととても不安で、術後のことを考えると体力的にも精神的にも、もう切りたくないと考えておりました。

腹腔鏡手術もあるようですが、がんの部分や大きさなどによっては適さないことも多いとのこととても不安でした。

肺がん

60代 男性 (中小企業経営者)

長年愛煙家として暮らしてきましたが、咳が止まらなくなりPET検査を受けたところ、初期の肺がんと言われました。

小さな会社を経営していますから、自分が治療のために長期休暇を取ったり、仕事を辞めてしまえば、会社が立ちゆかなくなってしまいます。

取引先との関係でも、社内の陣頭指揮でも、仕事を離れることはできませんでした。

通院で、体を痛めずに治療できる陽子線治療を選択したことで、自分の健康だけでなく、会社を続けられるだろうかという経営の悩みも解消することができました。

もう手術したくない

経営危機を乗り切ることができました

◎ 南東北がん陽子線治療センターで治療できるがん (例) ◎

がんの部位	病名
脳	脳腫瘍
鼻・顔面・のど等・耳鼻科領域	頭頸部がん
食道	食道がん
肺	非小細胞肺がん
肝臓	肝がん
肺・肝・骨軟部・リンパ節	転移性腫瘍
骨盤部	直腸がん術後骨盤内局所再発
前立腺	前立腺がん

陽子線治療と従来の治療法を組み合わせることで、がん治療の幅が広がっています。

陽子線は、体の深いところにあるがん、小さいがんなど、従来の放射線が苦手としていたがんに効果があります。

陽子線だけで治療が難しい症例は、陽子線にエックス線や化学療法(抗がん剤)を組み合わせ、それぞれの治療法が得意なところを生かした治療をご提供しています。



一般財団法人 脳神経疾患研究所 附属

南東北がん陽子線治療センター

<http://www.cancer-center.jp/>

〒963-8052 福島県郡山市八山田7丁目172 ☎024-934-3888 FAX.024-934-5393

【交通アクセス】

- 郡山駅から車で10分 (総合南東北病院による無料バス運行)
- 福島空港から車で60分
- 東北自動車道 郡山インターから車で20分

南東北がん陽子線治療センターは、国内では民間初の陽子線治療センターとして2008年(平成20年)10月にオープン。

地域がん診療連携拠点病院「総合南東北病院」と、高度診断治療センター「南東北医療クリニック」、および「南東北眼科クリニック」に隣接し、これらの施設と一体となって、総合的な治療を提供しています。



陽子線治療の適応についてのご相談は、JR 東京駅そばの東京クリニックでも可能です。

医療法人財団 健貢会 東京クリニック 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル
TEL 03-3239-7852 <http://www.tokyo-cl.com>